

事業継続の支援

○事業継続の支援

○「福岡県家賃軽減支援金」を創設……82億3,783万4千円【新規】

- ・売上の急減に直面する事業者の事業継続を下支えするため、国の「家賃支援給付金」に加え、県独自の家賃支援金を給付
- ・休業要請の延長に応じた北九州市内の事業者に対し、さらに家賃月額1割を支援

○中小企業向け制度融資を充実……582億4,800万円(4月補正:382億5,300万円)

- ・「福岡県新型コロナウイルス感染症対応資金」、「緊急経済対策資金」の融資枠等を拡大

○経営革新に取り組む中小企業を支援……4億3,094万3千円(4月補正:5億1,399万4千円)

- ・飲食店によるデリバリーやテイクアウトなど、新たな取組みを引き続き支援
- ・中小企業が実施する消毒、換気設備の導入等の感染防止対策を支援【新規】

○県産品の消費拡大を支援……5億7,209万9千円(4月補正:12億8,309万4千円)

- ・県内小中学校等の給食に「はかた地どり」、県産水産物(マダイ、ブリ等)を提供
- ・通販サイトを活用し、県産物のセット販売を実施。県産物の販売を促進するため、これを取り扱う飲食店を「福岡の地酒応援の店」として登録【新規】



はかた地どり

○日々の暮らしに困っている方の支援

○ひとり親世帯を支援……10億4,840万円【新規】

- ・生活が困窮しているひとり親世帯に対し、臨時特別給付金を給付
[児童扶養手当受給世帯に対し、1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円等]

○学生の修学継続を支援……4,183万9千円

- ・感染症の影響により家計が急変した家庭の学生が修学を断念することがないように、県立三大学、私立専門学校が行う授業料等の減免を支援



全国高校総体(インターハイ)

○学校再開の支援

○学校の再開を支援……9億4,264万2千円【新規】

- ・臨時休業中の未指導分の補習における児童生徒のサポート等を行う学習指導員を配置
- ・中学、高校において中止となった部活動全国大会の代替となる地方大会の開催を支援

「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化

○観光の振興

○九州在住者を対象とした「福岡の魅力再発見」キャンペーンを実施……8億4,620万6千円【新規】

- ・本県の宿泊施設を利用する旅行者の宿泊料金の割引を支援[1泊あたり最大5千円/人]
- ・本県を周遊する旅行商品の割引を支援[1泊あたり最大5千円/人、日帰り最大3千円/人]
- ・県内周遊促進のために利用するレンタカー代の割引を支援[1台あたり3千円]
- ・SNSを活用し、県内周遊促進プロモーションを実施



原鶴温泉

○地域経済の活性化

○地域商品券による地域経済の活性化を支援……5億2,066万4千円(4月補正:13億6,276万5千円)

- ・プレミアム付き地域商品券の発行規模を拡大
[発行規模:183億円→233億円、プレミアム率:20%以上]

○リモート化の推進

○県立美術館、図書館のデジタル化を推進……4,398万8千円【新規】

- ・県立美術館に所蔵する美術品をインターネットで鑑賞できる「バーチャル美術館」を開設
- ・県立図書館に所蔵する貴重資料や郷土資料のデジタルアーカイブ化(デジタルによる記録・保存)を実施し、ホームページにおいて公開



ウェブ会議システム

○中小企業等のテレワーク環境整備や製品開発等を支援……9,982万9千円

(※4月補正予算では、中小企業のウェブ会議システム等のテレワーク環境整備等の支援費8億円余を措置)

JR日田彦山線復旧と沿線の地域振興に向けて

沿線自治体とのWEB会議 ～大分県日田市も参加～

5月18日、超党派の県議らで結成された九州の自立を考える会の藏内勇夫会長の呼びかけにより、同会所属の栗原渉議長、同会のプロジェクトチーム日田彦山線復旧問題対策協議会の松本國寛座長ほか同協議会委員が参加し、日田彦山線沿線地域の振興策を議題として、関係する添田町、東峰村及び、大分県日田市との意見交換WEB会議が開かれました。

会議では、今後、沿線地域の観光振興や地域振興を一体的に進めることや会議の継続が合意され、また、九州の観光振興に取り組む(一社)九州観光推進機構にも協力を要請する方針が確認されました。



JR日田彦山線復旧と沿線の地域振興

5月24日、小川洋知事は日田彦山線沿線の東峰村の住民説明会で、鉄道での復旧断念とBRT(バス高速輸送システム)を東峰村全域の宝珠山駅まで延伸させる考えを表明。これを受け、東峰村では、断腸の思いでBRTでの復旧を容認するという苦渋の決断をされました。

5月27日、東峰村の澁谷博昭村長と添田町の寺西明男町長が福岡県議会を訪問され、BRT案を前提とした両地域の振興策についての要望書を九州の自立を考える会の藏内会長と栗原議長に提出されました。【写真①】

5月29日、栗原議長、原中副議長をはじめ代表者一同は、小川知事が強い決意を持って、地域の方々の期待を裏切ることなく、日田彦山線復旧問題の最終的な解決と東峰・添田両地域の振興という約束を確実に果たすよう求める「日田彦山線復旧及び沿線地域の振興に係る要請書」を小川知事に直接手渡しました。【写真②】

6月23日、第4回日田彦山線復旧問題対策協議会が、藏内会長、栗原議長、原中副議長、澁谷東峰村長、寺西添田町長の参加の下に開催されました。会議では「日田彦山線沿線地域振興策」の基本構想が協議され、原案で合意されました。【写真③】



「福岡県日田彦山線沿線地域振興基金」を設置

6月定例会において、平成29年7月九州北部豪雨により被災したJR日田彦山線沿線の東峰村及び添田町の地域振興を長期的かつ安定的に推進するため、「福岡県日田彦山線沿線地域振興基金条例の制定について」の条例議案および、「福岡県日田彦山線沿線地域振興基金」の補正予算議案が提出され、可決されました。

【基金の規模】10億円

【対象事業】東峰村、添田町における地域振興事業